

CEFR-J レベル

A2.2

技能

Spoken Interaction

Can Do descriptor

簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を較べたりすることができる。

⇒ 簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたりすることができる。

タスク：

内容： 修学旅行先の検討に関して、賛成もしくは反対意見を伝える。

形態：先生との面接形式とする。

手順

① 指示：「このカードを読んでください。読み終わったら顔を上げてください。」

② カード：

あなたの学校では、2年生は修学旅行 (school trip) に行きますが、行先は生徒が決められます。あなたは、行先をオーストラリアにするか、京都・奈良にするかを検討する修学旅行委員会メンバーです。先生はあなたの高校の ALT の先生で、修学旅行委員会の顧問の先生です。先生は、行先について色々な学生から意見を聞いています。あなたの意見とその場所の良さを先生に伝えて説得してください。

行先候補：オーストラリア または 京都・奈良

カードを読み終わったら顔を上げてください。

③ 会話開始。ストップウォッチで2分測る。

④ 生徒が黙ってしまった時には、直前に言ったのと同じ言葉をゆっくり繰り返したり、それを言い換えたりして発話を引き出そうとしてみる。それを1回試みて発話が出ないときには次に行く。このレベルでは、生徒の発話が自発的に出てくるかを確認するために、教員は次の発話をする前に最低5秒は待つ。

⑤ 理解を妨げるような誤った発話の時には、意味を確認する。それ以外の時には話を合わせて次に行く。

⑥ 話の途中で、2分後に会話をストップする。そこまでの発話で評価する。

(アウトプット) テキスト 1：この CEFR-J レベルで合格の会話

教員: Which place do you think we should go?

生徒: I think the trip to Australia is much better. (行先についての意見 OK)

教員: Why do you think so?

生徒: We are all looking forward to going to Australia. We have been to Kyoto and Nara before. I want to see animals and beautiful nature in Australia. (詳細な理由 OK)

教員: But going to Australia is expensive.

生徒: Yes. But we can practice English in Australia. The money is for our study, not for playing. (反論に対する回答 1つ)

目 OK)

教員: You can practice English in Japan.

生徒: But it's different.

教員: How is it different?

生徒: ... We can speak with real Australian people. We can experience Australian culture. (反論に対する回答 2 つ目 OK)

教員: OK. I see what you mean. I will think about it. Thank you. This is the end of the task.

(情報が不十分の場面もあるが (It's different)、教員の質問には過不足なく答え、自分の気持ち、意見を単文で表現できているため、評点 2)

(アウトプット) テキスト 2: 途中で沈黙など問題がある場合

教員: Which place do you think we should go?

生徒: I want to go to Australia. (行先についての意見 OK)

教員: Why do you think so?

生徒: Because I want to go to a foreign country. I want to enjoy.

教員: What do you want to enjoy, for example?

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: For example, what do you want to enjoy in Australia?

生徒: See koala. Shopping. Sightseeing. (詳細な理由が不十分)

教員: OK, but going to Australia is expensive.

生徒: Yes.

教員: You can enjoy Kyoto and Nara for much less money.

生徒: No. Australia is ... (10 秒沈黙) (反論に対する回答 1 つ目が不十分)

教員: Australia is more attractive?

生徒: Yes.

教員: OK. This is the end of the task.

(自分の意見や気持ちについての情報量が少なく、文章を作れない時もあるため、評点 1)

開発段階

第 1 期 (作成) 第 1 期 (実施) 第 1 期 (分析)

第 2 期 (改訂) 第 2 期 (実施) 第 2 期 (分析)

メモ

注意点:

- ・教員は一度は、学生の言ったことに反対意見を言ってみてそれに対する回答を確認する。

評価の目安:

- ・A レベルなので、どちらが良いか、その理由を主語・動詞のある単文 3 文程度で簡単に言い、教員の軽い反対意見に沈黙しないで、何か反応したら、評点 2

- ・文章をつなげたり、複文を使ったりして、自分のまとまった意見を言い、教員の反対意見に対しても自分の立場を主張できれば、評点 3。また、詳細さや流暢さ、正確さが高かったり、複文等の複雑な文構造やつなぎ言葉が多く見られたり、会話をリードしたり等のプラスの要素が 2 つ以上、一貫して見られる場合には、評点

3

- ・意見が非常に単純で、教員の軽い反対意見にもどう対応していいかわからず黙ってしまう場合は評点 1

開発担当者: 金子恵美子